

「豊臣秀吉」と「北政所ねね」が愛した祇園下河原

祇園下河原歩きマップ



祇園下河原通（ぎおんしもがわらどおり）は、京都市東山区にある通りで、八坂神社の南側を南北に走っています。京都の伝統と文化を色濃く残すエリアの一つであり、歴史的な町並みや格式ある料亭・茶屋が軒を連ねています。祇園下河原は「豊臣秀吉」と「北政所（豊臣秀吉の正室）ねね」と深いゆかりがあります。ねねは、秀吉の死後、京都に残り、仏教を深く信仰し出家して高台寺を創建しました。祇園下河原には彼女にまつわる伝説や歴史が残っており、芸術や文化が息づいています。茶道・建築・絵画・工芸といった日本の伝統芸術が大きく発展しました。

ねねが好んだ芸術の一つに日本舞踊や能楽があり、祇園下河原の周辺には今でも伝統的な舞台や劇場、そして舞妓や芸妓が活躍する場所が多く、当時の芸術的な雰囲気を感じることができます。ねねは祇園下河原を毎日歩いており、ねねの人柄を偲んで、地元の人々は彼女を「京の母」と呼び慕っていたといいます。

花街は芸術や文化で女性が活躍する空間で、祇園下河原には多くの商人や武士、文人などが集まり、商業的な交流が行われる場所となりました。舞妓や芸妓は舞台で舞踊や音楽を披露し、客と共に座敷で楽しむ「お座敷遊び」が盛んに行われていました。これらは京都文化の象徴となっていきます。

また、祇園下河原を訪れる人々の間で俳句や和歌、書画がたしなまれ、多くの文人墨客も集いました。また、花街には、舞妓や芸妓を育てるための育成文化があり、彼女たちは京都の伝統文化を受け継ぐ重要な存在となりました。その一画を担ったのが、秀吉や、ねねが築いた祇園下河原の文化でした。

※芸妓（げいこ）は、舞や三味線、唄などの芸を極めた女性。※舞妓（まいこ）は、芸妓見習いで、華やかな着物と日本髪が特徴的。

祇園下河原の歴史

1. 江戸時代以前

下河原通は、もともと鴨川の氾濫により形成された土地で、「下河原」と呼ばれるようになりました。この地域は八坂神社（当時は祇園社）の門前町として栄え、多くの参拝者が訪れました。

2. 江戸時代（17～19世紀）

京都の花街（かがい）の一部として発展し、茶屋や遊郭が立ち並ぶようになりました。特に祇園町の発展とともに、舞妓や芸妓が活躍する華やかな文化が育まれました。

下河原通は八坂神社への参道の一部であり、商人や職人が集まり、飲食や土産物を扱う店も増えていました。

3. 明治～昭和（19～20世紀）

明治時代以降、廢仏毀釈（はいぶつきしゃく）の影響により周辺の寺院が衰退する一方、料亭や旅館が増え食文化の中心地の一つとなるなど、観光地としての魅力が増していました。

昭和期に入ると、町家文化を活かした観光地としての色合いが強まり、京料理や京菓子の店も増えていました。

4. 現在

伝統的な町並みが保存され、観光地としての人気が高まりました。昨今、アーティスティックな飲食店や雑貨店が増え、海外からも注目を浴びています。

緑と水が織りなし、風が通る祇園下河原

祇園下河原の名所

八坂神社（厄除け・商売繁盛のご利益がある神社）

八坂神社は、下河原通につながる、京都を代表する神社の一つです。祭神は素戔鳴尊（すさのおのみこと）で、疫病退散や繁栄を祈願するための神社として古くから多くの信仰を集めています。祇園祭の中心となる神社で、毎年盛大な祭りが開催されます。※「おけら詣り」と商売繁盛 / 八坂神社では、大晦日には「おけら詣り」が行われます。「おけら火」という淨火を火縄に移し、それを持ち帰って新年の火種にすると商売繁盛や無病息災のご利益があるとされています。

高台寺（「豊臣秀吉」の正室「北政所ねね」が開いた寺院）

高台寺は、「北政所（豊臣秀吉の正室）ねね」が秀吉の菩提を弔うために出家し、1606年に創建した寺院です。寺内には、ねねの墓や秀吉の供養塔があり、歴史的にも重要な寺院です。また、庭園や茶室も美しく、四季折々の風景を楽しむことができます。ねねは日本文化（やまとごころ）を愛し、高台寺には、狩野派による襷絵（ふすまえ）や、蒔絵（まきえ）が置かれ、小堀遠州による枯山水の庭園もあり、日本庭園の美の粹を極めています。蒔絵は高台寺蒔絵という華やかな金蒔絵技法が発展しました。高台寺には「遺芳庵（いほうあん）」という茶室があり、桃山時代の茶道文化を今に伝えています。

石塀小路（風情ある小道）

石塀小路は、祇園下河原通とつながる風情のある道です。この小路は石畳の道が特徴で、古き良き京都の町並みを感じさせます。周囲には茶屋や料亭が立ち並んでおり、祇園の伝統的な雰囲気を楽しむことができます。夜は、ライトアップされた石塀小路が幻想的な雰囲気を醸し出します。

八坂の塔（法觀寺）（京都を象徴する五重塔）

八坂の塔は、臨済宗建仁寺派の寺院です。歴史の古さは京都でも屈指で、聖徳太子によって建立されたとも伝えられています。八坂の塔は、永享12年（1440）に足利義教によって再建されたもの。他の伽藍は応仁の乱で全て焼失し、このシルエットの美しい五重塔だけが残りました。五重塔は初層内陣と二層目まで拝観することができ、内陣には五智如来が安置されています。

「豊臣秀吉」と「北政所ねね」

「豊臣秀吉（1537-1598）」は、安土桃山時代、農民から昇りつめ天下人となり、戦国時代を終結させて日本を統一した人物です。秀吉は京都を政治と文化の中心にしたため、祇園下河原とも深い関わりがありました。秀吉は京都を支配した後、祇園や八坂神社を大切にし、地元の神社や寺院への支援を行っています。秀吉は茶の湯を愛し、千利休を重用しました。1587年、秀吉は京都の北野天満宮で「北野大茶会」という大規模な茶会を開いており、その後、京都の各地に茶屋が増え、祇園下河原周辺も茶の湯文化が栄えました。秀吉の時代には能や狂言が庶民にも広まり、祇園の花街文化と結びつきました。「北政所ねね（1549-1624）」は秀吉の妻で、当時は珍しい恋愛結婚から始まり、政治、経済、教育面など幅広い領域で秀吉をサポートしました。秀吉と北政所ねねは、祇園下河原を始め、現在の京都の芸術、文化の礎を築いたと言えます。

祇園下河原ゆかりの人々

・井原西鶴（1642-1693）

江戸時代の浮世草子作家で、『好色一代男』などを著した井原西鶴は、祇園の花街文化を題材にした作品を多く残しました。祇園下河原界隈の遊郭や茶屋文化にも詳しく、当時の風俗を知る上で貴重な資料となっています。

・与謝蕪村（1716-1784）

江戸時代中期の俳人・画家である与謝蕪村は、祇園周辺の風景や花街の情景を詠んだ俳句を残しています。「春の夜や しのぶに似たる 別れ酒」（春の夜に、忍ぶ恋のようないつて別れの酒を飲む）

・松尾芭蕉（1644年-1694年）

日本の代表的な俳人で、江戸時代に活躍しました。祇園下河原の花街で多くの俳句を詠み、芸妓たちとの交流を深めました。彼の俳句は、京都の自然や風景、人々との交流から多くのインスピレーションを得ています。

・近松門左衛門（1653年-1724年）

江戸時代の浄瑠璃作家で、京都に住み祇園下河原周辺で活動していました。彼の作品には、京の町や祇園の花街を背景にしたものが多く、祇園下

河原がその創作に大きな影響を与えたと考えられています。

・加賀千代女（1703年-1775年）

江戸時代の女性俳人で、松尾芭蕉の門下に師事していました。彼女も祇園下河原で多くの俳句を詠みました。特に、彼女が詠んだ句には、京都の街並みや花街の情景が反映されています。

・冷泉為村（1712年-1774年）

江戸時代中期の公家で、歌人としても活躍。高台寺周辺の風景を詠んだ歌を残しています。「さくら花 ちりかふ山の 夕暮れは 風よりほかに 知る人もなし」（桜の花が舞い散る山の夕暮れ、その寂しさを知るのは吹く風だけである）

・竹内栖鳳（1864年-1942年）

京都画壇の巨匠で、祇園の芸妓や風景をテーマにした作品を多く残しています。

・竹久夢二（1884年-1934年）

大正時代の画家で、彼の作品にはしばしば京都の風景や花街が描かれています。特に、祇園下河原は作品において重要な舞台として登場しています。京都文化や花街の美が色濃く反映されています。

・谷崎潤一郎（1886年-1965年）

日本文化を愛した作家で、京都を舞台にした作品（細雪など）を執筆しました。祇園下河原の風情を愛した文化人の一人です。

・川端康成（1899年-1972年）

小説『古都』の舞台として、祇園やその周辺、祇園下河原が描かれています。

・西郷隆盛や大久保利通など

明治維新を成し遂げた幕末の志士たちも京都に滞在していた際、祇園下河原周辺の茶屋などで意見交換や交流を深めていたと言われています。

（発行）

一般社団法人京都公共政策研究所

〒605-0822 京都府京都市東山区上弁天町435-4

Tel & Fax: 075-533-6800

<https://kyoto-p.jp/>

Email: info@kyoto-p.jp

祇園下河原歩きマップ広告募集中



① 京料理 古都梅

京都市東山区祇園町南側506-1

TEL 075-561-2008

営業時間 11:30~14:00/17:30~21:00 定休日 月曜日・祝日 週は木曜日
四条通から八坂神社へ東大谷参道を歩けば、京都らしい街並みの祇園古都梅。長い伝統の中で育まれた京料理を厳選された山海の素材と匠の技でお召し上がりいただけます。四季の美しい移ろいをゆったりとながれる時間の中でお楽しみください。

② うなぎ to アップルパイ 八坂1646

京都市京都市東山区祇園町南側506

TEL 075-741-8827

営業時間 11:00~20:00 定休日 不定休

「八坂1646」では、宮崎県産の肉厚うなぎりんごの糖蜜入りの特製タレを絡めて、炭火で丁寧に焼き上げてご提供しています。お米は、京都丹後産コシヒカリを主に産地にこだわった厳選米を使用。アップルパイは八坂1646の看板メニュー。全て店内で焼き上げており、焼き立てでも冷めてからでも美味しいをお楽しみ頂けます。

③ 京つけもの もり

京都市東山区祇園町南側506

TEL 075-746-5855

営業時間 8:30~17:00 定休日 年中無休

伝統的な京漬物を海外のお客様に食べていただきたい!こんな思いで2023年9月30日に八坂店として「京つけもの もり」が飲食店を初めて出店させていただきました。今では海外でも有名になつた「おにぎり」の具材として京漬物を使用し、専門店らしい品揃えをしております。「おにぎりセット」や漬物を添えた「卵かけごはんセット」をはじめ、おにぎり単品も取り揃えております。

④ RISTORANTE ITALIANO CHIMERA(キメラ)

京都市東山区祇園町南側504

TEL 075-525-4466

営業時間 12:00~14:00 18:00~21:00 定休日 水曜日(他に週1日不定休有り) 京都を中心とした食材と、シェフ筒井の技法を融合させるキメラスタイルにより今までにない美味を提供いたします。

⑤ 京都祇園茶寮

京都市東山区祇園町南側 506

TEL 075-746-6728

営業時間 平日9:00~17:00 土日祝8:00~18:00 定休日 不定休

京都祇園茶寮は、京都の文化を世界に伝えるセレクト茶寮で、八坂神社の近くに位置し、焼きたての食パンと京都らしいスフレッドが楽しめるカフェです。祇園祇園茶寮をきっかけに、京都の街の魅力・伝統工芸の進化、新しい京都を知ってもらい、新たな歴史を紹いていきたいと考えています。

⑥ 京都着物レンタルわぶらす京都

京都市京都市東山区清井町483-1

TEL 075-532-6600

営業時間 9:00~19:00 定休日 不定休(12/30~31, 1/1~2はお休み)

京都の風情が漂う町家づくりの店舗には新作・ブランドもの、レトロモダンやアンティークなど、こだわりのお洒落きモノが豊富にございます。ご希望に合わせた帯やレース、小物などのコーディネートや、ヘアアレンジでワクワクドキドキのキモノ体験ができます。「パワースポット散策」「インスタ映えスポット」「文化遺産めぐり」など、キモノ姿で最高に幸せな旅時間をお過ごしいただけます。

⑦ 京洋菓子司 ジュヴァンセル

京都市東山区清井町482京ばんビル2F

TEL 075-551-1511

営業時間 10:00~18:00(L.O17:30) 定休日 火曜定休(祝日営業)

行列のできる店としてメディアにも取り上げられており、祇園フォンデュは宇治抹茶をふんだんに使って作られた濃厚なショコロットソースに、フルーツやお団子などを絡めて。残ったショコロットソースはホットミルクを注いで抹茶オレとしてお楽しみいただけます。京菓子などはおみやげとしてお買い求めいただけますので、ぜひお立ち寄りください。

⑧ ちりめん山椒 京佃煮舗 やよい

京都市東山区下河原通八坂鳥居前下ル上弁天町439

TEL 075-561-8413

営業時間 9:30~17:00 定休日 1月1日・2日

「美味しい物は素材が全て」の店主の教え通り、素材を厳選し、創業時から変わらぬ調理技法で手作業で焼き上げたちりめん山椒おにぎり>が看板商品。地域柄祇園界隈のお茶屋さん等のお土産にお使いいただき徐々に広まりました。他にも、昆布や野菜の佃煮・惣菜を揃えており、名工・中村外二による数寄屋造りの建築の中お選びいただけます。はなれにはくつろぎレストランやよい>も併設。土日祝にはお一人ずつ釜で炊いたご飯とたっぷりのおじやをお楽しみいただける「おじやご膳」もご用意しております。

⑨ 環光着物レンタル 八坂店

京都市京都市東山区下河原町499-10

TEL 080-6172-6942

営業時間 9:00~18:00 定休日 不定休

八坂神社から徒歩5分以内の距離にあり、日本らしい風情あふれる街並みの中に併むお店です。和服に着替えた後は、日本の街並みを背景に素敵な写真を撮ることができます。花見小路のような歴史ある町家が並ぶ風景が好きな方に、ぜひおすすめです!

⑩ フランス料理 BISTOROT ATOUT(ビストロアトワー)

京都市東山区下河原町495

TEL 075-754-8561

営業時間 Lunch11:30~14:30L.O15:30閉店

Dinner17:30~21:00最終入店 23:00閉店 定休日 不定休

わきあいあいとしたカジュアルなお店、ビストロアトワーは添加物を使っています。肉、魚などから汁出をとり、ソースを作っています。ナチュラルで繊細なフランス料理をリーズナブルに楽しめます。カントリーな可愛らしい雰囲気の店内で、女子会などにもぴったりです。ランチはコース料理のみのご用意で、ディナーは単品で注文可能です。

⑪ Tea Ceremony Experience KISSHO - 茶道体験 吉祥

京都市東山区下河原町495 2F

定休日 水曜日

休憩時間: 45分間(各日3杯 ①11:00~11:45/②13:00~13:45/③15:00~15:45)

体験人数: 1杯の名まで 言語: 英語対応可
京都産のオーガニック抹茶を使った立札式(りゅうれいしき)茶道体験。椅子とテーブルを使用した快適な空間で、カジュアルに茶道を体験してみませんか。日本茶や茶道の歴史を学びながら、ご自身で点てた抹茶をお楽しみください。

⑫ 楽焼窯元・和菓

京都市京都市東山区月見町24

定休日 不定休

京都祇園にて文政年間に開窯した楽焼窯元です。お茶碗を中心に、蓋置や水指などのお茶道具、懐石食器などを制作しております。楽焼茶碗は、一品一様、同じ窯は二つと存在しないという考え方のもと制作されてきました。当窯におきましても、その考え方から逸することなく、一窯一窯、丁寧に制作しております。お茶席だけでなく、普段の一般的にも、ご愛用いただけます。

⑬ 祇園にし

京都市東山区月見町21-2 1階

TEL 075-532-4124

営業時間 Lunch12:00~15:00 dinner18:00~22:00

定休日 月曜日/ 不定休(水・木・金・土・日はランチ営業)
日本料理の繊細にして無二の味を。店主・西隼平は日本料理店とイタリアンでの修行を経験。日本料理の伝統を継承しつつ、その上に店主の若い感性やイタリアンのエッセンスを吹き込みます。繊細にして細やかな心づくしと遊び心で、ほかでは味わえない(洗礼された)料理をご堪能ください。

⑭ Bar石塚小路しぇりークラブ

京都市東山区下河原町489-2

TEL 050-5590-4788

営業時間 火~金15:00~00:00・土

12:00~15:00/17:00~00:00・日12:00~23:00

定休日 月曜日

京都、石塚小路内にある大正時代の蔵を

改装した「シェリー酒と和酒のお店 しぇりー

クラブ」。スペイン料理とシェリー酒、そして和

酒のマリアージュをお楽しみ下さい。

⑮ 祇園下河原 PAGE ONE

京都市東山区下河原通八坂鳥居前下ル上弁天町435-4

TEL 075-551-2882

営業時間 13:00~24:00

定休日 水曜日

美味しい氷を届けようと時間を重ね、森

田水室本店は今年で133年目、その歴史

に新しいページを加えようと、五代目とな

る兄弟で立ち上げた店が「PAGE ONE」

です。氷とともに、召し上がっていただけ

る手作業で氷塊を削って器

として仕上げています。

⑯ やまとごころ祇園下河原

京都市東山区下河原通八坂鳥居前下ル上弁天町435-3

TEL 075-533-6800

営業時間 月~金10:00~17:00

土日祝10:00~17:30

定休日 年休無

「日本書紀」に、推古3年(595年)4月、淡

路島に沈水が漂着し、類い希なる良い薫

りを漂わせたと記されています。当店の

お香は、日本一の生産高である淡路島で、熟練された香司が天然香料を調合

して丁寧に作り上げたものや、全国から逸

品を集めています。お香を聞いて心豊か

なひとときをお過ごしください。静寂な心

身を養います。

⑳ 串揚げとワイン おりじん

京都市東山区八坂鳥居前下ル上弁天町435-2

TEL 075-551-5577

営業時間 15:00~00:00 定休日 水曜日、不定休

※なお、お食事の提供は17時からになります。
2020年にオープンした串揚げとワインの店。店主の田井さんは生まれも育ちも東山、こちらの空間も仲間とよく集った元友人宅。町家のリラックスムードに包まれながら、米油で楽しめます。

㉑ Madame Delluc京都祇園店

京都市東山区上弁天町431-3

TEL 075-531-2755

営業時間 10:00~19:00 定休日 12月31日

1919年創業ベルグー王室御用達のショコラトリー日本一号店です。創業者マリーがこだわり、当時の貴族に愛されたサロンや「小さな宝石」と称されるショコラを京都で体感できます。2階のカフェで伝統のショコラやワッフルをドリンクとともにお楽しみいただけます。※アフタヌーンティーは要予約

㉒ シマ屋スタイル

京都市東山区上弁天町431-3

TEL 075-203-4284

営業時間 チェックイン15:00 チェックアウト11:00 定休日 不定休

自然のぬくもりが感じられる京町家。そこは一步足を踏み入れた瞬間に感じる木と土のあたたかさがもたらす、くつろぎの空間。シマ屋スタイルの客室は、伝統技術を受け継ぎながらも革新的なデザインを取り入れ、歴史のもう優雅さとモダンな快適さとの融合を実現しました。

㉓ 京料理 川辻

京都市東山区下河原通八坂鳥居前下ル上弁天町428-2

TEL 075-744-0509

営業時間 18:00~22:00(最終入店19:00) 定休日 不定休

「来られた方に美味しいものを召し上がっていただきたい」いつもその気持ちで、毎日カウンターに立っています。「今までにない味をだしたい。そしてその味をお客様に喜んでいただきたい」お客様のお顔を見てから、料理を考えることもあります。そして、まだまだ進歩していきます。誰も食べたことのない味を生み出して行くために。

㉔ 京都 祇園 今井三絃店

京都市東山区下河原通八坂鳥居前下ル下河原町476

TEL 075-561-3682

営業時間 9:00~17:00 定休日 不定休

五代目店主、今井伸治が自信を持って技術を提供。職人の技関西で唯一、店頭で三味線の製造・修理・販売を行なう専門店です。長唄三味線、常盤津三味線、清元三味線、地歌三味線、義太夫三味線、民謡三味線等、多種類の三味線に対応できます。匠の技により奏者の個性に合ったオリジナリティあふれる三味線をご提供。撥、駒、ケースなども多彩に取り揃えております。

㉕ 京料理 うえの